

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	継続した理念の振り返りが行われることと、一年間の実践状況なども含めた見直しが行われる事にも期待したい。また、ユニット会議時などに、独自理念の唱和もして更に馴染み深くなるように取り組まれてはどうか。	理念の内容をスタッフ一人一人が理解し、意識することが出来、実践につなげていくことが出来る。	①ご利用者様、スタッフの目につきやすいところに掲示する。 ②毎月のユニット会議で唱和を行い、意識を高める。	10 か月	
2	4	家族の参加を増やして、更に意見を取り入れていくために、時には参加しやすい日時の検討や、勉強会や行事などの同時開催を検討されてはどうか。また、家族にも議事録配布を行って関心をもってもらうことにも期待したい。	ご家族の参加を増やし、より多くのご意見、要望を頂きサービスの向上につなげる。	①資料及び議事録の掲示と配布。 ②参加しやすい、話しやすい雰囲気作り。 ③開催曜日の検討を行う。 ④早めに開催日のお知らせをする。	6 か月	
3	5	事業所で発行している「わかばだより」を地域包括や、役所にも配布することで、状況報告やコミュニケーションを作る手段として活用してはどうか。	施設の状況報告や地域包括、市町村とのコミュニケーションを図ることにより、相談や質問の行いやすい関係作りが出来る。	①年4回発行している「わかばだより」の配布。 (地域包括、役所、近隣病院、市民センター等に配布。町内での回覧。)	6 か月	
4	51	外出行事などで家族にも案内することで、交流の機会や職員の負担軽減につなげてはどうか。また、地域の外出ボランティアの活用など、情報収集や検討される事にも期待したい。	ご家族が参加できるレクの機会を作り、入居者様の状態、支援状況を知って頂き、信頼関係を深め楽しみを増やす。	①大型バス利用の外出レクリエーション企画の際は、ご家族様への参加を募り一緒に楽しみ、触れ合う機会を作る。	10 か月	
5		事業所全体でのスタッフの理解を深めるために、今後も事例検討やスタッフの持ち回りでの研修参加などが継続的になされることが望まれる。	権利擁護に関する制度の理解を深めることが出来る。	外部研修での報告会、施設内勉強会を定期的に行う。	10 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	<input checked="" type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input checked="" type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
		<input checked="" type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/> ⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
		<input checked="" type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input checked="" type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input checked="" type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/> ⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input checked="" type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input checked="" type="radio"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input checked="" type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/> ④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input checked="" type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input checked="" type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input checked="" type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/> ⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input checked="" type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input checked="" type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input checked="" type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/> ⑤その他( )